

玉野市都市計画マスタープラン（案）及び立地適正化計画（案）に関する説明会
議事要旨

1 概要

開催日時	令和 8 年 9 月 25 日（金）14:00～15:30
開催場所	玉野市役所 1 階 多目的ホール（東）
会議次第	1 開会挨拶 2 説明 玉野市都市計画マスタープラン（案）及び立地適正化計画（案）について ○ 2 つの計画について ○ 計画をつくる背景と課題 ○ 玉野市が目指すまちの姿 ○ 居住・都市機能を誘導する区域 ○ 防災と区域外のまちづくり ○ 計画を実現する取組 ○ 届出制度と今後の予定 3 質疑応答 4 閉会

2 質疑応答

計画（案）について説明したのち、質疑応答を行った。意見交換の主な内容は次項以降のとおり。

No	質問・意見	市の考え方
1	人口が減少する中で、玉野市を活性化させるためには企業誘致が必要と考えるが、企業誘致についてはどう考えているのか。	幹線道路沿道などの既存の都市基盤を活用できる区域において、産業政策との整合を図り、周辺環境に配慮しながら、地区計画などを活用して企業立地や計画的な土地利用を検討します。
2	地域活性化のため、子育てに関する施策を強力に取り組んでいる市町村もある。例えば、公設塾を運営するなど特色を持った取組が行われている。玉野市は子育てに関してどのように考えているのか。	各地域に立地する都市機能や子育て施設を生かし、引き続き各地域のコミュニティを維持しながら、暮らしやすいまちづくりを進めます。
3	直島への玄関口である宇野を生かし、外国人観光客に玉野市内でお金を使ってもらふ施策を通じて、関係人口を増やせるのではないかと。直島は大きな磁石であり、宇野港はそのゲート。八浜の歴史的な伝統文化や街並みなども活用し、日比、玉野、宇野、田井、八浜、洪川などを結ぶ一帯を軸として考え、関係人口を増やすようなまちづくりができれば面白いのではないかと。	都市計画マスタープランでは、観光などの移動を支えるため、市内外や地域の拠点を結ぶ道路・公共交通ネットワークの維持・充実を図る方針です。 観光客に公共交通を利用してもらうことで、公共交通の維持と市内の移動、観光による地域活性化を支えることを目指している。
4	公共交通について、宇野駅までの便数を維持する目標は、既存の大型路線バスを前提としているのか。自動運転など、公共交通の媒体が多様化することが見込まれる中、大型バス運行の1時間2本を維持するよりも、小型バスで運行頻度を高めるほうが利用客が増えるのではないかと。人件費の問題や自動運転がどうなるかわからないが、そういった将来の公共交通手段を視野に入れているか。	現時点では、自動運転の実用化は不透明な状況であるため、自動運転等を前提としたまちづくりは検討していません。 今後、国の取組を勘案しながら、地域公共交通計画と合わせて検討を進めていきたいと考えています。
5	立地適正化計画の誘導施策について、税制優遇や固定資産税の軽減などのインセンティブはあるか。	国の施策として、金利優遇などの制度があります。ただし、まちづくり団体等が行う大規模な開発や再開発などが対象となるため、玉野市での活用は限定的と考えています。